

グリーン ニュース

第17号

発行年月日 平成14年11月20日

発行責任者 群馬県環境アドバイザー連絡協議会

代表 新井 栄一

環境アドバイザー重点行動テーマ

行動する環境アドバイザー

・・・研修・情報交換の場を広く・・・

★3R運動推進団体として『大臣表彰』 ～群馬県環境アドバイザー連絡協議会～

平成14年10月23日東京の飯野ホールで行われたリデュース・リユース・リサイクル推進協議会主催の表彰式において、群馬県環境アドバイザー連絡協議会が経済財政政策担当大臣賞を受賞致しました。当表彰は、本年度、全国の自治体や関係部局から推薦された234件の中から選ばれた18件に該当したものです。対象案件は、現在行っているマイ・バッグ・キャンペーン運動が3Rの推進に貢献していると認知されたためです。

★マイ・バッグ・キャンペーン

登録519店舗 ノーレジ袋デー登録320店舗

平成14年度のマイ・バッグ・キャンペーンは、皆様のお力添えを得て、順調に進んでいます。地球温暖化対策、ゴミ減量化対策のためにも、地球人である国民一人ひとりが意識し、実行しなくてはならない問題だと思えます。アドバイザーの皆様には、更なるご協力をお願いします。店頭啓発活動一覧を掲載します。(詳細3ページ)

★ドイツ人による環境講演会があります。

月日 平成15年1月18日(土) 13:30~16:00
場所 群馬県社会福祉総合センター 8階 大ホール
講師 ゲオルク レナーツ氏(ドイツ連邦共和国 モーゼル地方マイエン市出身 東京在住)
テーマ ドイツ人から見た日本の環境問題あれこれ(日本語で行われます。)
対象 アドバイザーを中心に一般県民を対象とします。お誘い合わせのうえ多数ご参加下さい。

★アドバイザーの登録更新は、来年4月

現在の群馬県環境アドバイザーの任期は、平成15年3月31日までです。そのため、継続される方は、登録更新の手続きが必要となります。名称・条件等は、現在とほとんど同じになると思います。皆様には、是非、再登録をしていただくとともに、環境問題に関心のあるご友人等に、アドバイザー登録して下さるよう、今から声をかけておいてください。

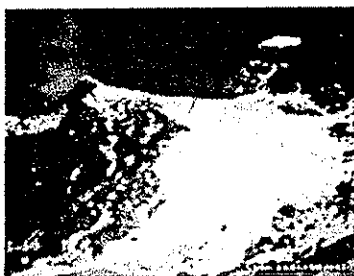
コツコツ宣言大募集！

コツコツ宣言生活編と
地球にやさしい知恵

コツコツ宣言通勤編

地球温暖化防止のため
毎日の生活から出る
二酸化炭素 (CO₂) をCO₂CO₂
減らしましょう

現在起こっている地球温暖化の影響(全国地球温暖化防止活動推進センターより)



後退するヒマラヤ
(東ネパール)の氷河
左 1978. 5. 30 撮影
右 1998. 10. 27 撮影



村落に迫る砂丘。電柱の
下半分が埋まっている。
中国内蒙古自治区

温暖化によって海没が
心配されるマーシャル
諸島マジュロ環礁

洪水被害にあったバン
グラデシュの首都ダッ
カ



立ち枯れの丹沢山系の
ブナ

温暖化の影響は、着実に私たちの生活に近づいています。
東京の平均気温はヒートアイランド現象で100年間に3度上
昇したという報告もあります。私たちの今の生活は、何かが間違
っているのではないかと気づかなくては、生活スタイルの見直し
はできません。環境アドバイザーのみなさんも、地域の人たちに
ねばり強く呼びかけていただき、地球環境を少しずつ良い方向に
向けていきましょう。

お問い合わせは、地球環境を守る県民行動事務局(県庁環境政策課)

電話027-226-2817 FAX027-243-7702まで

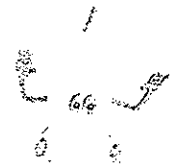
平成14年度マイ・バッグ・キャンペーン啓発活動一覧

	日	市町村	場所	時間	参加団体
1	9月8日	渋川	渋川市役所	10:00 ~ 15:00	アドバイザー-渋川地区
2	9月14日	藤岡	吉井町保健総合センター	10:00 ~ 16:00	アドバイザー-藤岡地区、生活学校
3	9月17日	藤岡	スーパー丸幸本店	10:00 ~ 16:00	アドバイザー-藤岡地区、生活学校
4	9月21日	中之条	ヤオコー中之条店	15:30 ~ 17:00	アドバイザー-吾妻地区(東部)、地婦連、くらしの会
5	9月22日	高崎	松井田商店街	15:00 ~ 16:30	アドバイザー-西部ブロック
6	9月22日	長野原	スポーツハウス市川、小林商店	15:30 ~ 17:00	アドバイザー-吾妻地区(西部)、地婦連
7	9月24日	高崎	ベルク江木店	10:30 ~ 12:00	アドバイザー-西部ブロック
8	9月25日	高崎	とりせん群馬町店	13:30 ~ 14:30	アドバイザー-西部ブロック
9	9月26日	甘楽	スイートハッピー	15:30 ~ 16:30	アドバイザー-富岡ブロック(甘楽町)、くらしの会
10	9月27日	富岡	Aコープ、ベシヤ、丸幸、フレッセイ	15:00 ~ 16:00	アドバイザー-富岡ブロック(富岡市)、地婦連、くらしの会、生活研究グループ、JA
11	9月27日	高崎	ヤオコー井野店	11:00 ~ 12:30	アドバイザー-西部ブロック
12	9月27日	高崎	とりせん石原店	14:30 ~ 16:30	アドバイザー-西部ブロック
13	9月28日	子持	子持ベシヤ	15:00 ~ 17:00	地婦連
14	9月28日	伊勢崎・東	イトーヨーカドー・アピタ	10:00 ~ 17:00	伊勢崎地区・地婦連・くらしの会・JA
15	9月28日	前橋	イトーヨーカドー前橋店	10:00 ~ 12:00	南橋リサイクルの会
16	9月29日	桐生	コジマストア	~	アドバイザー-桐生地区
17	9月29日	前橋	フレッセイ荒牧店	10:00 ~ 12:00	前橋北地区(南橋の自然観察と環境を守る会)
18	9月29日	太田	コエブ新井店	15:00 ~ 17:00	アドバイザー-太田地区
19	9月30日	尾島	ベシヤ尾島店	16:00 ~ 18:00	アドバイザー-太田地区、地婦連
20	9月30日	伊勢崎	コープリセロ宮子	15:00 ~ 17:00	環境ネット21
21	9月30日	藤岡	イトーヨーカドー藤岡店	15:00 ~	アドバイザー-藤岡地区
22	10月1日	新田	フジマート木崎店	15:00 ~ 16:30	アドバイザー-太田地区、地婦連
23	10月1日	前橋	コープ六供店	10:00 ~ 17:00	アドバイザー-前橋(南部)、生協
24	10月1日	伊勢崎	コープリセロ宮子	15:00 ~ 17:00	環境ネット21
25	10月2日	太田	ベルク竜舞店	15:00 ~ 17:00	アドバイザー-太田地区、地婦連
26	10月4日	高崎	ベルク江木店	10:30 ~ 12:00	アドバイザー-西部ブロック
27	10月5日	高崎	ヤオコー安中店	16:00 ~ 17:30	アドバイザー-西部ブロック
28	10月19日	渋川	ジャスコ・とりせん	14:00 ~ 16:00	アドバイザー-渋川地区・くらしの会
29	10月20日	群馬	中央公民館	10:00 ~ 15:30	群馬町くらしの会
30	10月23日	高崎	とりせん群馬町店	13:30 ~ 14:30	アドバイザー-西部ブロック
31	10月25日	高崎	ヤオコー井野店	11:00 ~ 12:30	アドバイザー-西部ブロック
32	10月26日	高崎	フレッセイ石原店	14:30 ~ 16:30	アドバイザー-西部ブロック
33	10月26日	赤堀	フレッセイ赤堀店	16:00 ~ 18:00	アドバイザー-伊勢崎地区
34	10月26日	前橋	イトーヨーカドー前橋店	10:00 ~ 12:00	南橋リサイクルの会
35	10月26日	桐生	相生公民館	~	生活学校
36	10月26日	高崎	高崎市役所	10:00 ~ 15:00	高崎市くらしの会
37	10月26日	前橋	元総社町公民館	13:00 ~ 16:00	アドバイザー-前橋(西部)、利根西環境フォーラム、元総社エコクラブ
38	10月27日	桐生	相生公民館	~	生活学校
39	10月27日	桐生	生活環境展	~	アドバイザー-桐生地区
40	10月27日	高崎	高崎市役所	10:00 ~ 15:00	高崎市くらしの会
41	10月28日	伊勢崎	コープリセロ宮子	15:00 ~ 17:00	環境ネット21
42	10月30日	伊勢崎	コープリセロ宮子	15:00 ~ 17:00	環境ネット21
43	10月30日	前橋	リセロ細井	~	アドバイザー-中島グループ
44	10月31日	伊勢崎	コープリセロ宮子	15:00 ~ 17:00	環境ネット21
45	10月31日	前橋	リセロ細井	~	アドバイザー-中島グループ
46	11月1日	伊勢崎	コープリセロ宮子	15:00 ~ 17:00	環境ネット21
47	11月1日	藤岡	イトーヨーカドー藤岡店	11:00 ~ 13:00	生活学校、アドバイザー-藤岡地区
48	11月8日	桐生	長崎屋	~	アドバイザー-桐生地区
49	11月9日	境町	総合文化センター	~	アドバイザー-境地区、境町の環境を考える会
50	11月9日	桐生	長崎屋	~	アドバイザー-桐生地区
51	11月10日	沼田	えびすこう	14:00 ~ 15:00	アドバイザー-沼田地区
52	11月10日	桐生	長崎屋	~	アドバイザー-桐生地区
53	11月20日	薮塚	ベシヤ薮塚店	15:00 ~ 16:00	地婦連(新田郡連合婦人会)

ご協力ありがとうございました



カナダ デポジット 情報



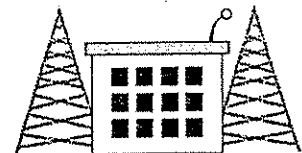
平成14年(2002年)8月26日から、9月3日まで(ヴァンクーバー・カナディアンロッキー・ナイヤガラ)を旅してきました。今回は、その旅先で見た、カナダのデポジット制度の情報をお知らせします。

1. 飲料水用の紙パック・カン・ペットボトル等すべての容器が、大きさに関係なく、デポジット制(預かり金制度)になっている。(州政府単位で実施)
2. 清涼飲料水を売っている棚の値段表示には、製品の値段の下に'+DEP(プラスデポジット金)'と書かれている。
3. デポジット金額は、大きさによって異なるが、最低は5セント(日本円4円)で、消費者が、レジで自動的に支払うシステムになっている。
4. 支払ったデポジット金額分は、レシートに明記されるので、消費者は、その金額を知ることが出来る。
5. 各々の町には、最低一カ所(大きな町は複数)『Bottle Depot』という現金支払い所があり、住民一人ひとりが空いた容器を持参すると、現金が戻ってくる。
6. Bottle Depotの管理人は、町当局が委託した民間人である。
7. 使用済みの容器を持参するのが面倒な人は、街の中にあるゴミ箱に捨てればよい。～但し、デポジット金の権利放棄となる。～
8. 戻された容器のリユース(再利用)は、大きさにより異なるようである。小さなものは、そのまま捨てられ、肉が厚い大きなペットボトル、ビン等は、リユース(再使用)と思われる。
9. ヴァンクーバーで、当初、鍵のかかったゴミ箱を見つけ、不思議に思ったが、このシステムが分かるに伴い、不法収集防止対策と理解し、納得した。
10. このカナダの制度は、業界にあまり負担がなく、群馬県で採用できないかと考えたが、国土の狭い日本では、県を超える物流が多く、国単位でないと無理と判断した。
11. カナダの州では、デポジット制度がすでに定着し、当たり前になっている。環境問題に関係するものとして、うらやましいという印象を持った。
12. その他として、タバコ及びアルコール類(ビール・酒等)の販売は、認定業者の店販売のみで、自動販売機扱いは一台もありませんでした。これは、青少年健全育成と認定業者制度を維持するためとのことでした。

(文責 鈴木克彬)

「フォーラム・電気のごみについて考えてみませんか ～エネルギー、将来の世代のために～」を聴講して

- 期日 平成14年7月23日(火) 13:30～16:00
会場 群馬県公社総合ビル ホール
主催 上毛新聞
構成 1 基調対談「循環型社会とエネルギー」帆足養右氏と平野啓子氏
2 概況説明 高レベル放射性廃棄物について
3 パネルディスカッション



第1部 「循環型社会とエネルギー」帆足養右氏と平野啓子氏の基調対談の趣旨

帆足氏と平野氏による前高と高の友達の思い出話を皮切りに和やかな対談から始まる。昔はごみにも季節感があった。夏にはスイカのおいしいところは人間が食べ、残りはカブトムシが食べ、循環型社会を形成していた。循環型社会とはごみが存在しない社会であり、リサイクル社会はごみが前提としてある。1950年代以降、プラスチックの出現で様子が一変して、循環できるものも含め捨てるようになり、大きな社会問題となってきている。人は知恵の動物で、何のために努力をしているかといえば、豊かさの追求であり、贅沢とか快適な社会の追求であった。電気はこの快適な社会を支えるために重要

な役目を果たしている。群馬県も69ヶ所のダム発電があるが27%相当であり、他は原子力発電とか火力発電による他県からの電気を導入している。火力発電はCO₂排出、原子力は放射性廃棄物が残る。快適な社会を求める人間社会において、この電気のごみを一人ひとり考えねばならない。

第2部 高レベル放射性廃棄物についての趣旨

始めに平成12年6月「特定放射性廃棄物、最終処分に関する法律」に基づき「原子力発電環境整備機構」が設立され、原子力発電で生じる高レベル放射性廃棄物の最終処分を実施することを目的に設立された。高レベル放射性廃棄物とは原子力発電で使用した燃料を再処理によって分離された放射能レベルの高い廃液をガラスで固めたものをいう。放射性廃棄物の量は15,500本(01年末)があり、今後20年で4万本になる。サンプルが展示されていた。現在保管は青森県六ヶ所村、東海村および各原子力発電所内の地上に保管されている。世界的傾向としてこの高レベル放射性廃棄物を地中深く埋設しようとしており、日本においても同様な動きがあり、原子力発電環境整備機構が候補地を選定するための放射能の特性・利便性、また、保管場所選定に当たり、透明性・公募性等々の説明を聞いた。しかし、危険性についての説明が不足していたことはいかめない。

第3部 パネルディスカッション

パネラーが質問、それに対する原子力発電環境整備機構が答える形式をとっていた。パネラーの突っ込み不足が目立ち、原子力発電環境整備機構の答えに説得力があったが、パネラーがいま少し鋭い質問が欲しかった。たとえば、安全性についての質問について安定性で切り返されていたことが目立った。

(文責 菊川照英)

環境教育部会講演会報告

テーマ 「21世紀を担う子どもたちへの環境学習」

～こどもエコクラブをどう育てるか～

日時 平成14年8月31日(土) 13:30~16:00

会場 群馬県社会福祉総合センター B01会議室

主催 群馬県環境アドバイザー連絡協議会(主管 環境教育部会)

司会 環境教育部会長 都丸 臧雄

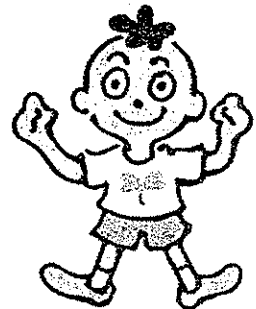
1 あいさつ 群馬県環境アドバイザー連絡協議会代表 新井 榮一氏

環境アドバイザー連絡協議会の中で、環境教育は重要な柱の一つである。とりわけ、21世紀を担う子ども達の環境教育については、学校と家庭と地域社会が協力して取り組まねばならない。本日の実践講座の中で、こどもの環境学習の現状ならびに、「こどもエコクラブ」の実態とその活動状況を理解して、活動の発展に寄与出来ることを期待する。

2 こどもの環境学習の現状について 群馬県環境政策課次長 岡野弘文氏

環境教育及び環境学習に関する規定等の解説と、平成14、15年度群馬県の環境学習関連事業について説明があった。

- ・環境基本法(H5-11)
- ・環境基本計画(H6-12)
- ・中央環境審議会答申(H11-12)
- ・中央教育審議会答申(H8-7)
- ・教育改革プログラム「教育立国を目指して」(11-9)
(環境教育の充実(地球環境問題への対応)が明確に位置づけられる)
- ・群馬県環境基本条例(H8-11-1施行)
- ・群馬県環境基本計画2001-2005(H13-3)
- ・平成14、15年度環境学習関連事業



3 「こどもエコクラブ」とはどのようなものか 群馬県環境政策課係長代理 川上辰幸氏

環境省環境教育推進室の「こどもエコクラブ事業」推進趣旨、「こどもエコクラブ」の推進体制と活動内容及び、全国都道府県別「こどもエコクラブ」のクラブ数と会員数の推移（H7～H13とH14中間）について説明があった。更に、群馬県における「こどもエコクラブ」の登録状況と県内の普及活動及び支援事業、「こどもエコクラブ」の活動例の紹介があった。

4 「こどもエコクラブ」活動の実際 群馬県環境アドバイザー・全国エコクラブ応援団 城田博巳氏

前橋市、元総社地区をはじめ各地区の「こどもエコクラブ」の活動事例及び、「こどもエコクラブ交流会」の紹介があった。また、参考資料として「エコ・キッズニュース」及び「サポーターズ・ニュース」のバックナンバー全号が配布された。

- ・遊びの中でためになる体験学習をする。
- ・大人と子供の共同活動である。

5 意見交換のまとめ

- ・「こどもエコクラブ」の成り立ちは行政主導型、学校主導型、公民館主導型、地域主導型などがあるが、地域主導型が一番自然でうまくゆくようだ。
- ・地域の主導で、学校や家庭でできないことをやると、学校もついてくるし地域の人たちにも期待される。
- ・公民館、自治会、こども育成会との連携、先生を通して募集してもらう。家族も一緒にやるなど、既存の組織や体制と結んでこどもと大人が協力してやると良い。
- ・活動に行政が拘らない方がよい。活動費の出どころとして、行政や公民館の利用を考えることはできる。
- ・教育委員会と環境部門との連携を喚起したい。
- ・地域のこどもの環境教育は「こどもエコクラブ」に限ったものではない。粗大ごみの処理、ごみ拾いや河川清掃など身近な環境問題が材料になる。

（文責 都丸誠雄）

富岡ブロック活動報告

A地域環境学習講座



富岡ブロックでは、今年度4回の講座を計画したが、今までに、7月14日と8月25日の2講座を終了した。2講座ともテーマは「環境先進国ドイツの実情と甘楽町の分別収集に学ぶ」で、富岡市と妙義町の2会場で実施し、参加者は49名と32名であった。

講師は、県環境アドバイザーで、ともに甘楽町在住の長岡晴美さんと飯塚秀子さん。

長岡さんはドイツ視察に参加し、実際に見聞したことを、写真やパネルを使用して分かりやすく説明してくれた。特にフライブルグ市を中心に太陽光発電利用や、無駄なものを排除したスーパーの品揃えや、利用しやすいリサイクルシステム、ごみ埋め立て地から出るガスを利用した発電などを紹介し、すべてが合理的で、市民の意識の高さを話してくれた。

飯塚さんは、1997年に分別・リサイクル収集が始まった甘楽町の取り組みについてと、昭和50年前後のごみが散乱していた頃から60年前後の町長さんの「ごみのない町宣言」で、町が変わっていった様子などを話してくれた。

講演後の質疑応答も活発であった。

Bマイ・バッグ・キャンペーン実施のための合同会議

- ・日 時 平成14年8月2日(金) 13:30~15:30
- ・会 場 富岡公民館
- ・参加団体 富岡婦人会連合会 富岡市くらしの会 生活改善グループ JA女性会(当日欠席)
富岡商工会議所女性会 富岡市文化協会 環境アドバイザー 富岡市生活環境課長

① 自己紹介の後、各団体では買い物袋を持参して、レジ袋を断る取り組みをどのようにしているかを、発表してもらったが、まだまだ努力が必要であることが分かった。昨年のこの会合では、このような話し合いをしなかったため、それぞれの団体の環境問題に対する取り組みの度合いなどが分かり、有意義だったと思う。そして、グリーンコンシューマーぐんまネットの加盟団体はより一層の各会員への啓発が必要ではないかと感じた。

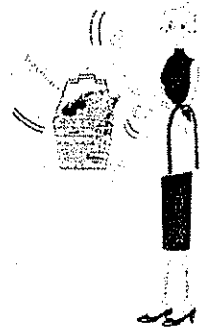
② マイ・バッグ・キャンペーン実施の詳細決定
(富岡会場)

日 時 14年9月27日(金) 15:00~16:00
場 所 ベイシア富岡店 丸幸バイパス富岡店 セキチュー富岡店 Aコープ富岡店
フレッシュ富岡店

参加人数 47名

(甘楽町会場)

日 時 14年8月20日(火)
場 所 甘楽町物産センター
参加人数 6名



C富岡市資源化センター見学と話し合い

日 時 平成14年8月20日(火)

参加人数 15名

内 容 富岡市資源化センターは、着工から2年近くを経て本年3月に竣工、4月より稼働が始まった施設である。1日5時間作動で33トンの処理能力を備えており、不燃物・粗大ごみ処理ライン、びん類・缶類ペットボトル処理ライン、その他プラスチック処理ラインの3ラインがある。しかし、7月には、不燃・粗大ごみラインにボンベと思われる物が混入し、大爆発を起こして、現在修理中で600万円の修理費がかかる見込みとのこと。

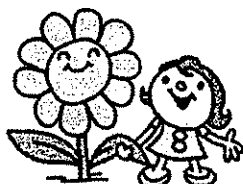
収集方法は、それぞれを透明または半透明の袋に分別して出す方式をとっており、分別してない袋は、市民に正しい出し方を徹底させるために、集めないで残すため、市内の各所に置かれた袋が目立つのが現状である。

そこで、環境アドバイザーが見学の後、話し合う機会を持ったが、多くの意見と質問が出された。

(話し合いのまとめ)

- ①レジ袋がごみ袋として使える今の方式を再検討してもらいたい。
 - ②ごみ袋に各自が責任を持つために記名か番号を義務づけることを検討したらどうか。
 - ③建設費はどのくらいかかったか。(市債10億700万円、一般会計7200万円、国庫3億円)
 - ④スプレー缶に穴を開けずに出す理由。スプレー缶は指定の袋にしたらどうか。
 - ⑤ごみ処理費用を市民に公にし、もっと市の指導性を発揮してほしい。
- 等活発な話し合いであった。

(文責 飯井哲子)



ニューエルダーシチズン大賞 佐藤幸次郎さん入賞!



高崎市元島名町の環境アドバイザー佐藤幸次郎さんが、創造的で元気な高齢者を顕彰する「第二回ニューエルダーシチズン大賞」(主催 読売新聞社 後援 厚生労働省)に入賞されました。佐藤さんは、たった一人で、近くの井野川サイクリングロード150メートルにコスモス300本を植えてコスモスロードにしたところ、ゲートボール仲間や地元の高崎東校、高南中の生徒らにも活動の輪が広がり、今や1.5キロメートル、3万5千本にもなったものです。1994年から毎年苦労して苗を植え、水やりを行い、草取りをして管理を続けた結果が、現在の活動の輪を広げ、すばらしいコスモスロードになったのです。今後は、高南中の総合学習の講師として活躍される予定もあるそうです。さらなる、ご活躍を期待します。(文責 事務局)

エコムーブ号活用方法見学会について

環境アドバイザーの皆様にご覧のエコムーブ号の活用を一層図っていただけるよう、次のとおりエコムーブ号による環境学習について見学会を開催いたしますので、奮って御参加ください。

なお、この見学会は、地域の小・中学生とその保護者を対象とした学習会を利用させていただき実施するもので、実際に即して活用方法を勉強していただけるものです。(当日は、エコムーブ号の活用方法に関するテキストを用意します。)

参加の申し込みは、開催日の3日前までに県庁環境政策課(電話027-226-2817)までご連絡願います。

日時 11月30日(土) 午後1時30分から3時30分まで
場所 桐生市菱町2丁目1349-1「桐生市立菱公民館」
主催 桐生市立菱公民館

日時 12月7日(土) 午前9時15分から正午まで
場所 富岡市上丹生3 「富岡市立丹生小学校」
主催 富岡市立丹生小学校

日時 12月14日(土) 午前中(詳細未定)
場所 前橋市城東町1-35-7「前橋市立城東小学校」
主催 前橋市立城東小学校PTA



専門部会のお知らせ

環境アドバイザー連絡協議会の専門部会が次のように行われます。参加は自由です。相互の研修・啓発にご参加の上、意見交換してください。

日時 平成14年12月7日(土) 13:30~15:30

場所 群馬県庁 14、15階

141会議室 環境教育部会

142会議室 ごみ問題部会

151会議室 エネルギー・温暖化部会